

参考資料

KASHIBA

第5次香芝市総合計画 前期基本計画

抜粋



令和3年3月
香芝市



施策4 学校教育の充実

現状と課題

- 全国学力・学習状況調査を概観すると、本市の子どもたちは、成績はよいが、学びへの主体性が低い傾向が見られます。子どもたちが学習内容を自分の生き方や社会の在り方と結び付けて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるように、学校教育の充実を図る必要があります。特に、子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、学習の質を一層高める授業改善に向けた取り組みを活性化していくことが重要です。
- 遠隔・オンライン教育やICT等を活用した家庭学習の推進など、全国的に学校教育の仕組みや学習環境の見直しが求められています。災害等の非常時に限らず、情報技術は今後も飛躍的に進展し、人々の社会生活や日常生活に浸透することが予想されます。児童・生徒が情報を主体的に捉えながら、何が重要かを考え、見いだした情報を活用しながら他者と協働し、新たな価値を創造する情報活用能力の育成が求められています。
- 特別な支援を必要とする児童・生徒数は年々増加しています。また、不登校やDVなど、目の前に困難を抱える子どもたちも少なくありません。一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行うことができるよう、体制の充実が必要です。また、家庭環境や経済的状况に左右されることなく児童・生徒が希望をもって学びに向かうことができるよう、就学援助制度の充実が求められています。
- いじめの認知件数は年々増加しており、いじめの芽を摘む早期対応ができて一方、多様化・複雑化する事案も多くなっています。平成26年度(2014年度)に策定した「香芝市いじめの防止等のための基本的な方針」に基づき、いじめの未然防止及び早期解決などの対策に引き続き取り組んでいく必要があります。
- 教職員の経験年数の均衡が崩れはじめ、経験豊富なベテラン教職員から若手へ知識・技能が十分に継承されない状況があり、若手教職員の資質能力の向上が課題となっています。一方で、蓄積された経験則に頼り過ぎてしまい、ICT活用など時代のニーズに合った学びの手法が浸透し難い状況も見受けられます。これまでの優れた教育実践とICTなどを取り入れた新しい学習スタイルとのベストミックスによる授業改善・指導力の向上が求められています。
- 小1プロブレム、中1ギャップといった教育環境が大きく変化する状況に適応できない子どもたちが増えていきます。保育所・幼稚園等から小学校への就学、小学校から中学校への進学が円滑になるように、子どもたちの交流や教職員の連携を図る必要があります。
- 令和2年(2020年)4月時点、本市には市立小学校が10校、中学校が4校ありますが、いずれの学校施設も老朽化が進んでいるため、改修工事を進めていく必要があります。時代のニーズに応じた整備と併せて効果的かつ効果的に改修を進めていく必要がありますが、子どもの人数が減少していることにともない、余裕教室の有効活用、小学校給食施設の効率的運用など、将来を見据えた施設管理が必要です。

目指す姿

すべての児童・生徒が安全に安心して、
主体的・対話的で深い学びができる環境が整っている。



SDGs 該当分野

目標	目標達成に向けた取り組み
 2 飢餓をゼロに	栄養バランスのとれた給食を提供することで、児童・生徒の成長に寄与する。
 3 すべての人に健康と福祉を	定期的に健康診断を実施することで、児童・生徒の健康に寄与する。
 4 質の高い教育をみんなに	特別支援教育の充実、就学援助制度の実施、教育施設の改良等、さまざまな方面から学習環境を整備するとともに、教職員の資質能力の向上を図ることで、すべての児童・生徒に質の高い学校教育を確保することに寄与する。
 16 平和と公正をすべての人に	いじめ対策を強化することで、いじめの未然防止と早期解決につながり、平和で包括的な社会づくりに寄与する。



生活の中でみんなができること

市民ができること	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等に参加し、自分の子ども以外の子どもたちとも積極的に関わりを持つ。 ・学校運営に協力する。 ・経験や能力を活かし、学校教育に関わる。 ・学校活動やボランティア活動等に積極的に参加する。 ・学校施設を大切に使用する。
地域団体ができること	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育・学校運営に対する理解を深め、各種団体や市と連携し、地域で子どもたちの学びと成長を見守る環境づくりを行う。
事業者ができること	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育・学校運営に対する理解を深め、多様な学びの場の創出、社会見学・就労体験の機会の提供等、行政と連携を図る。



施策の主な取り組み

① 学びの推進・支援

一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うことで、学ぶ意欲と確かな学力を身に付け、未来を担う子どもたちを育成します。

指標名	単位	算出方法(指標説明)	現状値(RI)	目標値		
				R6	R10	R14
学校に行くのが楽しい子どもの割合	%	全国学力・学習調査(文部科学省)で「楽しいと思う」「どちらかと言えばそう思う」と回答した人数/全回答者数(小学校5年生・中学校2年生対象)	84.0	84.4	84.8	85.2
国語・算数(数学)の勉強が好きな子どもの割合	%	全国学力・学習調査(文部科学省)で「好き」「どちらかと言えば好き」と回答した人数/全回答者数(小学校5年生・中学校2年生対象)	62.0	64.0	66.0	68.0
国語・算数(数学)の平均正答率	%	全国学力・学習調査(文部科学省)で問題に正解した人数/全回答者数(小学校5年生・中学校2年生対象)	65.0	67.0	69.0	71.0
児童・生徒のICT活用を指導する能力	%	学校における教育の情報化の実態等に関する調査(文部科学省)で指導する能力4項目に対して「できる」「ややできる」と回答した教員数/全回答者数(市内小中学校教員対象)	56.0	61.0	66.0	71.0

※全国学力・学習状況調査及び学校における教育の情報化の実態等に関する調査の設問は、年度によって若干表現が異なる場合があります。

■実施する主な事業

学力向上推進事業	知・徳・体のバランスの取れた教育内容（読書活動、外国語教育、道徳教育、体力向上等）の充実を図り、学ぶ楽しさと分かる喜びが実感できる授業の創造に向けて、教職員の資質向上を進めます。
教育相談支援事業	一人ひとりに応じた学習環境（特別支援教育・教育相談）を提供します。また、福祉等の関係機関と連携して、いじめの防止や不登校児童生徒の支援に取り組むなど、きめ細かな教育を進めます。

②安心して学べる教育環境の整備

児童生徒が安全で快適に学校生活を送れるよう、学校施設の老朽化対策として長寿命化に取り組むほか、施設全般の環境向上や機能の維持・向上を図ります。

指標名	単位	算出方法（指標説明）	現状値 (R1)	目標値		
				R6	R10	R14
小学校・中学校施設の長寿命化	棟	長寿命化改修工事が完了した棟数（令和2年度からの累計）	0	0	10	19
学校トイレの洋式化	%	トイレの洋式化改修工事が完了した便器数（累計）／改修工事対象便器総数	39.2	68.4	93.0	99.5

■実施する主な事業

小学校施設維持管理事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を進めるとともにICTを活用し、児童生徒がより主体的・協働的に学習できる環境づくりを進めます。また各小学校施設の状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行い、並行してトイレの洋式化を進めます。
中学校施設維持管理事業	子どもの人数の推移に合わせて計画的に施設の再編や整備を進めるとともにICTを活用し、児童生徒がより主体的・協働的に学習できる環境づくりを進めます。また各中学校施設の状況に応じて修繕する等、日々の維持管理を行い、並行してトイレの洋式化を進めます。

関連する主な施策

- 施策5 家庭・地域・学校の連携 ①地域ぐるみの子どもの支援
- 施策8 健康づくりの推進 ③望ましい食生活の定着推進
- 施策15 生涯学習とスポーツ活動の充実 ③図書館機能の充実
- 施策16 歴史文化財の保存と継承・展開 ①二上山博物館機能の充実

関連部門計画

- 第2期香芝市子ども・子育て支援事業計画
- 香芝市教育大綱
- 香芝市いじめの防止等のための基本的な方針
- 香芝市学校施設等長寿命化計画（個別施設計画）